

## リリースノート： Dominion® KX IIIユーザーステーション（バージョン 2.0）

日付：2017年12月

### 該当モデル： サポート対象のDominion KX IIIのモデル

DKX3-108, DKX3-116, DKX3-132, DKX3-216, DKX3-232  
DKX3-416, DKX3-432, DKX3-464, DKX3-808, DKX3-832, DKX-864  
DKX2-101-V2

### 互換性の概要:

- リリース 2.0 にアップグレードするには、ユーザーステーションでリリース 1.2 を実行している必要があります。
- Dominion KX III マルチポートモデルでは、リリース 3.2 以上が必要です。
- CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) と統合するには、CC-SG ファームウェアバージョン 6.3 が必要です。  
(CC-SG ご購入後一年以内またはソフトウェア保守ご購入のお客様に対してご提供可能です。入手方法に関しては、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください)

### Dominion KX IIIユーザーステーションの概要

Dominion KX IIIユーザーステーションは独立したアプライアンスで、KX III KVM-over-IP スイッチに接続されているリモートサーバーやワークステーションへ IP アクセスでも高いパフォーマンスを提供します。ラボ、スタジオ、制御室、オフィス、データセンターに最適なこのユーザーステーションは、標準の Cat5/6 ケーブルと Ethernet/IP テクノロジーにより、容易に設置することができます。ユーザーステーションには、柔軟性と生産性に優れたパワフルなデスクトップユーザーインターフェースが用意されています。シングルまたはデュアルモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートし、8 台以上のサーバーへの同時アクセス、参照、制御が可能です。

### ファームウェアの概要（バージョン 2.0）

リリース 2.0 は、CC-SG と統合されたメジャーリリースで、CC-SG ユーザーはユーザーステーションにログインして、Dominion KX III および KX2-101-V2 デバイスに接続された機器にアクセスすることができます。

CC-SG と統合して使用するには、CC-SG ファームウェアの特別な 6.3 バージョンが必要です。このファームウェアは、ラリタンのテクニカルサポートから入手できます。(CC-SG ご購入後一年以内またはソフトウェア保守ご購入のお客様に対してのみのご提供となります。すでにソフトウェア保守が切れている場合は、この機会にソフトウェア保守延長をご検討ください。)

追加機能には、ポートスキャン、拡張ホットキーなどが含まれています。以下の詳細を確認ください。

### Dominion KX IIIユーザーステーション リリース 2.0 の特徴

- **CC-SG / ユーザーステーション統合。** ユーザーステーションにログインし、CC-SG 資格情報を使用して Dominion KX III および KX2-101-V2 デバイスに接続された機器にアクセスします。ユーザーステーションや PC / ラップトップに対するエンタープライズクラスのアクセスをサポートします。  
関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#95051.htm>
- **自動ポートスキャン。** ユーザーステーションは、選択したサーバーを自動的にスキャンし、ユーザーが複数のサーバーを監視し、必要なときに KVM セッションを開始できるようにします。  
関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#95148.htm>
- **ホットキーサポートの強化。** ユーザーステーション機能、ウィンドウ管理、KVM クライアント、KVM ポートアクセスに対するホットキーの包括的な制御。  
関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#46197.htm>

- **KX IIIスイッチのバルクインポート。**ユーザーステーションにKX IIIスイッチを迅速に追加する機能（CC-SGは使用しない）。  
関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#95077.htm>
- **スクリーンショットをUSBドライブに保存。**ログの記録やトラブルシューティングのために、スクリーンショットをUSBメモリに保存するためのホットキー。  
関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#95081.htm>
- **アイドルタイムアウト後のブランクモニター設定。**ユーザーが設定したアクティビティタイムアウト後にブランクスクリーンにするオプション。関連オンラインヘルプ：<http://help.raritan.com/kxus/v2.0.0/en/#81776.htm>
- **その他修正、セキュリティアップデート、拡張性、ユーザーインターフェース、強化機能、ドキュメントアップデート。**  
関連オンラインヘルプ：
- **ドキュメントとオンラインヘルプのアップデート。**

### Dominion KX III ユーザーステーションドキュメント:

Dominion KX IIIユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

Dominion KX IIIユーザーステーションガイド – ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するガイドです。

Dominion KX IIIユーザーステーションクイックセットアップガイド – KX IIIユーザーステーションの初期設定でご利用いただけます。

ユーザーステーションドキュメントは、リタンのWebサイト（[www.raritan.com/jp/](http://www.raritan.com/jp/)）から入手いただけます。「サポート」ページの[製品を選択してください]ボックスで[Dominion KX IIIユーザーステーション]を選択すると、ユーザーステーションドキュメントがリリースごとに表示されます。該当するリリースをクリックしてください。

### オンラインヘルプ

オンラインヘルプシステムをご利用いただけます。ユーザーステーションデスクトップで、[Main Menu（メインメニュー）] > [Help（ヘルプ）] > [User Manual（ユーザーマニュアル）]をクリックすると、オンラインヘルプシステムが起動します。[Contents（目次）]、[Index（索引）]、[Search（検索）]から、適切なトピックを参照することができます。テキストや画像を含め、Dominion KX IIIユーザーステーションガイド全体を参照いただけます。また、同ガイドには多くのリンクも記載されています。

Dominion KX IIIについては、リタンWebサイトの「サポート」セクションから、Dominion KX IIIユーザーステーションのオンラインヘルプをご利用いただくこともできます。

### 互換性情報

1. リリース 2.0 にアップグレードするには、ユーザーステーションで必ずリリース 1.2を実行している必要があります。
2. このリリースは、KX IIIリリース3.2以降と併せてロードされている場合、Dominion KX IIIスイッチとの連動が保証されています。また、シングルポート、シングルユーザーのDKX2-101-V2 KVM-over-IPスイッチとも連動します。
3. ユーザーステーションは、Dominion KX、KX II、LX、KSX II、そのほかのリタンIPスイッチとは連動しません。
4. **ユーザーステーションは、CommandCenter Secure Gatewayバージョン6.3と統合されますが、それ以前のバージョンのCC-SGとは統合されません。**CC-SG6.3は、リタンのテクニカルサポートから入手できる特別なファームウェアバージョンです。（CC-SGご購入後一年以内またはソフトウェア保守ご購入のお客様に対してのみのご提供となります。すでにソフトウェア保守が切れている場合は、この機会にソフトウェア保守延長をご検討ください。）

## 留意事項および重要な情報

KX IIIユーザーステーションに関する以下の重要な情報をご確認ください。

- CC-SG統合。**ユーザーステーションのCC-SGとの統合は、このリリースで追加された新機能です。
  - CC-SGファームウェアは特別な6.3バージョンが必要です。リタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。
  - 現時点で、すべてのCC-SGインターフェース方式がサポートされているわけではありません。現時点では、Dominion KX IIIおよびKX2-101-V2スイッチに接続されたサーバーへのインターフェースがサポートされています。
  - この統合は新機能のため、いくつかの制限があります。たとえば、FIPSモードはサポートされておらず、スクリーンショットキャプチャ機能、ポートスキャンやCC-SGクラスタリングもサポートされていません。ユーザーステーションのマニュアルを参照するか、リタンのカスタマサポートに連絡してください。これらの制限は今後のリリースで解除される可能性があります。
- ポートスキャン。**セカンダリモニター上のポートスキャンを長期間にわたり実行していて、スキャンが一時停止した場合、一旦スキャンをクローズして再度オープンするか、[Pause（一時停止）]ボタンをクリックしてから、[Play（プレイ）]ボタンをクリックします。
- デジタル音声。**音声にノイズが混じることがあります。その場合は、音声を切断して再接続してください。
- デフォルトのAdmin（管理）パスワード：セキュリティ上の理由から、デフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。
- 2種類のユーザー認証情報：ユーザーステーションでは、(a)ユーザーステーションへのログイン用認証情報、および(b)アクセスするKX IIIスイッチ用認証情報の、2種類のユーザー認証情報（ログイン/パスワード）が使用されます。ユーザーステーションにアクセスするにはユーザーステーションの認証情報が必要であり、また認証情報によって、ユーザーステーションの管理タスクへの許可の付与が決定されます。認証情報は、KX IIIユーザーステーションの管理者が作成します。KX IIIスイッチに入力されたユーザー認証情報により、KX IIIに接続されているサーバーのうちどれにアクセス可能か判断され、仮想メディアやリモート電源制御といった関連許可が付与されます。CC-SGと統合して使用する場合、ログイン認証情報とKX IIIスイッチ用認証情報は、ユーザーのCC-SGの認証情報が使用されます。これらの認証情報をユーザーステーションで設定する必要はありません。
- ユーザーごとのユーザー認証情報：KX IIIユーザー認証情報は、各ユーザーごとに保存されます。CC-SGを使用しない限り、ユーザーは使用する各KX IIIスイッチに関して、各自のKX IIIユーザー認証情報を入力および保存する必要があります。
- FIPS 140-2モード：FIPS 140-2暗号化モジュールを有効にしている場合は、以下に留意してください。
  - KX IIIスイッチのサーバーに接続するには、信頼性のあるデバイス、または各KX III KVMスイッチのルート証明書をユーザーステーションにインストールする必要があります。
  - 暗号化されたLDAP接続を使用するLDAP接続は、このリリースではFIPS 140-2暗号化モジュールを使用しません。
  - TLS v1.2が適用され、ユーザーステーションでFIPS 140-2が有効になっている場合、KX IIIのターゲットに接続できません。
  - 現時点でCC-SGはサポートされていません。
- ユーザーブロック機能：KX IIIスイッチに誤ったユーザー認証情報を入力すると、「User Blocking（ユーザーブロック）」機能が有効になり、そのスイッチによりアクセスが自動的にブロックされます。これは、ユーザーステーションが複数回の接続を試みるためです。この場合は、KX IIIスイッチの管理者にご連絡ください。
- プラグを抜かないでください！：ユーザーステーションの電源ボタンを押してユーザーステーションをオフにしたり、電源コードのプラグを抜いたりしないでください。ユーザーステーションのデータベースが破損する可能性があります。

10. ビデオに関する留意事項：ユーザーステーションには3つのビデオポートがありますが、ユーザーステーションに接続できるモニターは2つまでです。DisplayPortおよびHDMIでは、映像信号と音声信号の両方が送信されます。音声を使用する場合は、お使いのモニターが音声の送信をサポートしている必要があります。KX IIIで設定したデュアルビデオポートは、現在サポートされています。
11. 音声に関する留意事項：[Auto Connect Audio（音声自動接続）]チェックボックスがオンにされていない場合、KVMポートへのアクセス後に音声接続を手動で行うことができます。
12. ネットワークに関する留意事項：ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は、[Automatic (DHCP)（自動 (DHCP) )]です。静的アドレスが必要な場合は、KX III KVMスイッチを追加する前に、ネットワーク設定を手動で行う必要があります。KX IIIスイッチのHTTPSおよびDiscoveryのデフォルトのTCP/IPポートを変更しないでください。
13. デュアルLANポート：ユーザーステーションの2つのLANポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続することができます。ユーザーステーションの電源を入れたとき、または再起動時に両方のLANポートがネットワークにすでに接続されている場合、ユーザーステーションは、いずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更している場合、「最後」に変更された方が自動的にデフォルト接続となります。注：デフォルト接続は、[Connection Information（接続情報）]ダイアログで確認できます。
14. Ctrl+Alt+Del：ユーザーステーションに接続されているキーボードで物理的にCtrl+Alt+Delキーを押すと、キーシーケンスはターゲットサーバーには送信されず、コマンドは最初にユーザーステーションで受信されます。コマンドをターゲットサーバーへ送るには、KVM Clientウィンドウの[Ctrl+Alt+Del]マクロボタンを使用するか、[Desktop Settings（デスクトップの設定）]でシャットダウンのホットキーを修正してください。
15. 仮想メディア：ターゲットサーバーから切断する仮想メディアドライブは、最初に「安全な取り外し」または「イジェクト」をすることをお勧めします。[Read/Write（読み取り/書き込み可能）]モードを有効にしている場合は、この動作を行わないとデータの損失につながる可能性があります。
16. ソフトウェアのダウングレード：ソフトウェアのアップデート機能は、ソフトウェアのアップグレードのみを許可するもので、ダウングレードは許可されません。ソフトウェアのダウングレードが必要な場合は、リタンのテクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアのアップデートを行う前に、すべてのデータのバックアップをとることを強くお勧めします。ソフトウェアのアップグレード中は、ユーザーステーションの電源を切らないでください。
17. カスケード接続とブレードサーバー：現在、ユーザーステーションは、KX IIIスイッチでのブレードサーバーまたはカスケード接続ポートをサポートしていません。
18. シリアルポート：ユーザーステーションのこれらのハードウェアポートは、現在使用されていません。
19. オンラインヘルプ：[email this page（このページを電子メールで送る）]、[send feedback（フィードバックの送信）]、[print this page（このページを印刷する）]の3つのボタンは、リタンWebサイト用であり、ユーザーステーション用ではありません。

## ファームウェアのアップグレード

**注：リリース2.0にアップグレードするには、ユーザーステーションでリリース1.2を実行している必要があります。**

リタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含む、ファームウェアのアップグレードリリースを用意しています。アップグレードは、リタンのWebサイト（[www.raritan.com/jp/](http://www.raritan.com/jp/)）で入手いただけます。「サポート」ページの[製品を選択してください]ボタンで[[Dominion KX IIIユーザーステーション](#)]をクリックしてください。新しいファームウェアリリースに最新のKX IIIユーザーステーションがあるかどうか確認し、ダウンロードします。

ファームウェアのアップグレードに関する指示事項は、KX IIIユーザーステーションのユーザーガイドを参照してください。アップデートを実行する前に、新しいファームウェアリリースのリリースノートをお読みください。ご不明な点がある場合は、リタンのテクニカルサポートまでお問い合わせください。